

- 今月の内容**
- ・全国の聖徒団を訪ねて(1面)
 - ・お題目の道を歩む(1面)
 - ・常國寺の唐門が県の重要文化財に指定(2面)
 - ・日蓮大聖人の歩まれた道(3面)
 - ・よろこびちゃんの質問箱(4面)
 - ・岩田先生の心も体も生き生き!(5面)
 - ・よろこび法話(6面)

令和4年
(2022年)



日蓮聖人降誕800年



よろこび

聖徒のための情報誌



2022年(令和4年)
4月号

発行所
日蓮宗全国霊断師会連合会

会長 大塩孝信
編集人 吉田憲由

毎月1回1日発行

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-25-11
喜助九段ビル702
九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341
ホームページ
www.yorokobi-reidanshikai.jp



よろこびウェブ
検索

全国の聖徒団を訪ねて

北海道旭川市 妙寿寺聖徒団(志村龍寛団長)



妙寿寺の本堂

北海道旭川空港から車で約十五分、またJR西神楽駅から徒歩三分のところに龍栄山妙寿寺がある。北海道の屋根大雪山を見渡す景観。夏は三十度冬はマイナス三十度にもなる土地で、開基百年の歴史を誇るお寺です。開拓時代の北海道では寺院の法要などの行事に参詣することは、信仰の上からも慰安の意味からも重要な意義を持っていた。講も色々な種類があり、寺院や信徒宅で多く催された。それは人々の集合する機会であり、社交場となり、レク

リエーション的役割を持って慰安の場となった。特に僧侶の説教は喜ばれ、遠くから参詣し、熱心に耳を傾けた。信心が慰安を伴い、慰安から信心を深める。相互に因となり縁となり果となって、仏縁を広め始め教会所を創り、後に昭和二十一年に寺号公称を行い寺格を高めていった。現在、北海道北部管内では珍しい万灯講・和讃講なども熱心に行われていた。身延大会に参加し、七面山を登詣、ご来光を拝み、自身の信心と皆様の健康幸福を祈念する。毎月一日の盛運祈願会は、十一時からうちわ太鼓と共にほじまる。コロナ禍でも多くの聖徒さんが感謝を祈る。団長上人夫妻の優しさと思いやりのおもてなしで、いつも笑顔の絶えない憩いの場となり、皆様の幸せを願っている。



毎月の盛運祈願会



身延大会参加の聖徒さんたち



修法を行う志村団長

員(北海道北東 関正龍通信員)
アクセス
JR富良野線西神楽駅から徒歩三分
北海道旭川空港から車で約十五分

お題目の道を歩む

〜倶生神月守と共に〜

地域から愛される憩いのカフェ

千葉県夷隅郡大多喜町 光善寺聖徒団(荻野泰貴団長)

千葉県にある小湊鐵道といすみ鐵道が乗り入れる接続駅・上総中野駅から徒歩三分、高台にある光善寺の長い階段下に店を構えるオーナーの吉野万利子さんが「寺ノ下cafe COCCORO」で安らぎと憩いの時間を提供している。



(左)万利子さん(右)娘さん

吉野万利子さん

吉野さんは以前より地域を盛り上げたい、地元の人たちが気軽に集まれる場所を作りたいと考えていたことから、前職の経験と知識を活かし、平成三十年七月にこのカフェをオープンした。ここで出されるメニューは地元の野菜や自家栽培したお米などを使用しており、ランチプレートやケーキセットが人気である。ここには地元は勿論、観光やお寺のお参りに来た人たちが来店し、些細な世間話や地域の情報などを共有し、いつも和やかな雰囲気です。以前は金、土、日曜日にお



落ち着いた雰囲気の店内

店を開いていたが、現在はコロナ禍によりそれも難しくなっている。しかし、吉野さんも挫折し以前のようにながら集まれる場所を取り戻す為、一日も早いコロナ終息を毎日



色彩豊かでボリュームミーなランチ

寺の下から祈っている。

寺ノ下cafe COCCORO

千葉県 夷隅郡大多喜町中野二四九-1
TEL 0174-25-2712
FAX 0174-25-2712



日持上人給出の靈場 間法寺
毎朝 5時半より「朝勤祈禱会」
4月24日(日)
午前11時より「盛運祈願会」
毎月 第2土曜日
午後3時より「唱題修行」
〒030-1403
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住職 工藤 義慎・院首 工藤 義幸



妙正寺聖徒団
大槻大和くん
北海道妙正寺聖徒団
〒071-1423
北海道 上川郡 東川町 東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714
FAX 0166(82)2914



いかされるよろこび
美濃乃國
常唱寺 聖徒団
〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575-33-1430

本山 妙頭寺
日蓮大聖人御真骨奉安

齊藤日軌貫首の著書&CD
C D
感通寺 百万遍陀羅尼
スリチナルム

日蓮宗の戒壇、その現代的意義

〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524/FAX 0283-22-4194

本妙山 感通寺聖徒団

〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

御題目信仰と共に、

受け継がれる将軍門

広島県福山市 常國寺聖徒団 (濱田壽教団長)



唐門が県の重要文化財に

たことなどが挙げられていて、県の重要文化財になるのは十一年ぶり、建造物としては四十六件目の指定となった。足利義昭将軍が常國寺を御所とし(一五八二年頃)、寄進した唐門と伝えるもので、「将軍門」と称されている。



法華經千部会の稚児行列



盛運祈願会で喜びを分かち合った

広島県福山市の宗門史跡常國寺で、江戸時代中期に造られた唐門が県の重要文化財に指定された。指定の理由は、室町幕府第十五代将軍足利義昭と常國寺の関係性を、江戸時代の職人たちが建物形式やデザインで示し

織田信長に京を追われた義昭将軍の警護役と成ったのが、常國寺開基檀越・一乗山城城主の渡辺元と景の親子であった。渡辺一族は「どうか、将軍を御守護して下さい」と、仏祖三寶に祈願し、命をかけて領民と共に将軍をお守りした。そんな献身的な警護への感謝の気持ちとして、義昭将軍は常國寺に唐門を贈られた。

常國寺聖徒、郷土のご先祖は、そのことをお寺・郷土の誇りとして約四百年の間、大切に守り続けてきた。今後は、県重要文化財として広島県の財(たから)としても守り続けられることとなった。

毎年、常國寺で開催される法華經千部会の稚児行列では、子ども達は将軍門から出発し本堂に入る。将軍門は、子どもたちの成長を見守るシンボルとしても常國寺・地域に息づいている。指定後初の『盛運祈願会』では、仏祖三寶、聖徒のご先祖に報告の法味が言上された。濱田団長は、「四百五十年の時を経て将軍門が今もお寺にあるのは、皆さまのご先祖が、御題目信仰と共に、歴史を受け継いでこられた証(あかし)です。指

宗祖日蓮大聖人御入滅七五〇遠忌に向けて

第五十回「春の大祭」平和復興大国袴会

岩手県遠野市法華寺聖徒団 (阿部是秀団長)



大勢の修法師による特別総加持

岩手県遠野市法華寺聖徒団(阿部是秀団長)で二月十一日(建国記念日)、第五十回「春の大祭」平和復興大国袴会が、県内外の修法師八名が出陣し、聖徒二百名参列のもと厳修された。

午前十時より、御利益をいただくよう聖徒たちは水行場を囲み、修法師がかかる水しぶきをいただいた。午前十一時より法要が始まり、お経が堂内を包み込んだ。御宝前修法では力強い木剣の音とともに新たに申込まれた厄払いや特別祈願のお札に開眼修法が行われた。

日蓮宗大荒行堂元正伝師工藤日温宛下は祝辞の中で、「日蓮大聖人は『三三蔵祈雨事』という御文章の中で、夫(それ)木をうえ候には大風吹き候へども、つよき(強)すけ(扶介)をかひぬればたうれず。この世の地上に木を植えようとして、強い添え木がなければ成長していかないので。添え木こそ成長していく上でもっとも大事なんですよ、と日蓮大聖人が私たちに残してくださっている。私たちがこれから生きていく上で自分の添え木は何なのか、お互いに確信しながら法華經の南無妙法蓮華經、お題目こそ、私たちを支えてくださる最高の添え木なんだと、春の大祭に参加し感じさせていたのだ。」と祝辞を述べた。

阿部是秀団長は謝辞の中で「昭和四十五年(一九七〇年)に靈断師養成講習会を受講し、靈断師となり、昭和四十六年には日蓮宗大荒行堂初行を成満し、この宮守の地で法華經の修行、広宣流布の志を抱きながらこれだけいいの、これだけいいのかと思いつつ、一心にお祖師様におすがりし精進した五十年であったが、今日また新たに命の続く限りお祖師様に御給仕していこうと思うことができた。皆様のご精進の証は、毎月の俱生神月守を受けて、しっかりと着帯する事。それによって安心して日々の生活を送り、安心して精進する事が出来るのが法華經の信仰の始まりであります。持っても待たなくてもいいといういい加減な気持ちであれば、ご利益はいただくことは出来ません。素直に真

か、お互いに確信しながら法華經の南無妙法蓮華經、お題目こそ、私たちを支えてくださる最高の添え木なんだと、春の大祭に参加し感じさせていたのだ。」と祝辞を述べた。



極寒での水行修行



盛大な福まき

面目に真剣に俱生神さま、日蓮大聖人におすがりするという姿を、諸天が認めてくださって皆様の災いを取り払ってくださるのです。」と感謝の言葉を述べた。

その後、修法師による特別総加持と、厄払いが五座行われ、団長と本厄歳者により「福は内」と大きな声を上げ、盛大な福まきが行われた。

参拝者は最高の添え木であるお題目を大きな声で唱え、日々の諸天善神、月守りの御守護に感謝して、益々の法華經修行を誓い合いながら、家族と共に法華寺を後に帰宅した。

一人で悩まずに九識靈断法

わからないことは
ほとけさまに相談

くしきれいだんぼう
九識靈断法

悩みを抱えたとき、進路に迷ったときには、九識靈断法があります。これは日蓮大聖人のお教えから生まれた運命鑑定です。幸せな人生のために、よりよき人生のために。

相談内容
家運 業運 金融 縁談 交渉 取引 選挙 訴訟 失物 病氣 就職 受験 人物 移転 旅行 企画 など

相談例
七面山に無事登拝できるか
(相談者) 六十一歳女性 主婦

本人が来寺して相談。一ヶ月後に団参で七面山へ登拝する予定である。しかしここ数年、糖尿病の持病があり、体力の衰えが著しく感じられ、大変不安に思っている。この団参は本年度十数回目になるが、本人は一回も欠かさず参加してきたので、今回も是非参加したいという。しかし、途中で動けなくなるような事態になれば、みんなに迷惑をかけるので、靈断法によって参加するか否かの結論を出したいとの相談である。

【御宝前にて靈断】
【靈断師による指導】
七面山登拝の意義を改めて説き聞かせ、登拝無事成就の為の祈願を修し、修行を実践するよう伝えた。また道中にては団長の指示に従って十分に注意し、無理をせず自分の調子を崩さずに登拝することを指導した。

【結果】
都内で大渋滞に巻き込まれ、予定より三時間も遅れて登山を開始した。車中の疲れと、途中から日没後の闇の中での登山であったが無事登山できた。下山時は最初雨天であったが、次第に晴れて何ごともなく無事下山できた。本人感激の七面山登拝であった。

第百二十三回 日蓮大聖人の歩まれた道

『立正安国論』客六に問う

靈断院教務部長
小泉 輝泰

「客聊か和きて曰く、いまだ淵底を究めざれども、ほぼその趣を知る。ただし華洛より柳營に至るまで、釈門に樞楗あり、佛家に棟梁あり。しかれどもいまだ勤状を進らせず(中略)主人の曰く、予少量たりといえども、忝くも大乘を学す。蒼蠅、驥尾に附して万里を渡り、碧羅、松頭に懸りて千尋を延ぶ。弟子一佛の子と生まれ、諸経の王に事う。何ぞ佛法の衰微を見て、心情の哀惜を起さざらんや」

(立正安国論)

主人の道理実証を踏まえた説明に、客はようやく納得し始めた様子ではありません。しかしまだまだ気にかかることもあるようで、少々方向性を変えこのように問いました。



「京の都からこの幕府に至るまで、佛法を学び弘める方々には、大変立派な人物が数多いらっしゃいます。しかし今あなたが主張するよう幕府に進言した人は誰一人おりません。あなたが恐れ多くも幕府にそれを提言しようなどと大言を吐くのは、その心意気こそ酌むことも出来ませんが、あまりに道理にもとると思わざるを得ません」

それに対して主人はこう答えます。「私は浅学の身ではありませんが、有り難くも大乘の教え、その中でも最上の教えである『法華経』を学ぶご縁をいただきました。小さな青繩とて駿馬の尾にとまっていれば、易々と万里を駆けることが出来ます。細き鷲も松の太木にからむこと、おのずから千尋の高さにも蔓を伸ばすことが出来るのです。それと同様に佛弟子である私は、この娑婆世界の唯一佛である教主釈尊の子としての世に生まれ、諸経の王である法華経と出会うことにより、この賤しき身でも佛の真髓に触れることが出来たのです。その妙縁を思えば、なぜ正しい教えが衰退してゆく様を見て、それを悲しま



ず捨て置くことが出来ましようか」
このお言葉こそ、まさに大聖人がその身を顧みず、この『立正安国論』を幕府に奏進された真の理由でしょう。法華経弘通の正機である末法の世に、得がたき人身を得て、遇いがたき妙法蓮華経に遇い奉るは、大聖人にとってこの世に生を受けたよろこびの極みであり、いかに片田舎の海辺に生まれ育った身分であった(とご自身は仰せですが…)としても、釈尊との約束を違えるわけにはいかないのです。
その「約束」とは、衆生救済のための唯一の法である『法華経』そして『お題目』を世に弘めることに他なりません。人々が苦しみに喘ぐ混沌とした時代の中で、誰ひとりとして目前にある万能薬『法華経』を重んじることなく、またそれを弘めようとしないのであれば、「我がこそは」と名乗りを上げずして末法の世に生まれた意味があるでしょうか。

宗祖日蓮大聖人御降誕八百年慶讃法要 一塔両尊仏像・諸天善神開眼並びに墓地完成奉告式を厳修

東京都新宿区 清隆寺聖徒団(林重仁団長)



開眼法要を行う林団長

令和三年十二月二十三日、東京都新宿区の清隆寺聖徒団にて約八十年ぶりに一塔両尊の御本尊が甦った。
同寺は熊本藩主細川家によって寛永十五年(一六三八)、加藤清正公を祀り直参旗本を中心に創建されたお寺。立身出世、必勝開運等のご利益で広く信仰を集め、幕末から明治期に活躍した政治家・勝海舟も檀家の人。第二次世界大戦の空襲で境内が焼失して以来、文字曼荼羅を本尊としていた。
平成二十七年(二〇一四)に就任した林重仁住職は、戦前の寺観を取り戻す第一歩として仏像造立を発願した。
この十年間の布教活動によっ

て教化してきた信徒さん聖徒さんのご祈禱・ご供養を行い、お布施と浄財を仏像造立の財源として積立て、元々の檀家さんからの寄付を求めずに成し遂げることができた。
中央に題目宝塔、その左右に釈迦牟尼仏と多宝如来を奉安する日蓮宗独特の本尊形式で造立が実現した。また新潟県法華宗陣門流総本山本成寺管長小松法順猊下感得の三十番神を新たに遷座し、更にお寺の守護龍神・白富龍王神と併せて開眼した。
開眼法要では、まず日蓮宗常任布教師である杉並中道寺住職山形教亨上人が高座説教を行い、日蓮聖人の龍口法難について丁寧な語られた後、「開眼された光輝く仏様をお手本に、お題目を唱えて心を磨いて下さい」と説いた。
御宝前には、一塔両尊の本尊、三十番神、加藤清正公像、龍神の宿る水晶を安置し、慶長の役で使われた題目の旗指物も奉安して開眼法要を午前と午後二回に営み、導師の林団長はじめ九名の僧侶により雅楽が奏でられる中で読経、唱題、木剣加持祈禱で魂を込めた。
清正公の廟所がある熊本・本妙寺の御住職、池上正示僧正も

御祝いに駆け付け「林住職は戦前の仏像を再建しようと、毎年正・五・九月にわざわざ熊本まで来られて極寒の日も酷暑でも一日中読経、唱題をしていた」と、地道に続けてきた努力を讃えられた。
本会からも大塩孝信会長が出席され祝辞を述べた。大塩会長は林団長が僧侶としてスタートした時の話から始まった。「墓所の整備という大英断、この度の大事業は林団長は勿論、総代、檀信徒、聖徒の皆様協力無しでは成し得なかったと思います。本当に大変だったと思います。」と涙ながらに述べた。また、林団長の師父である新聞智雄元会長に大変お世話になったことを踏まえ「師父上人は靈山浄土で喜んでおられると思います。しかしここからがスタートとして新たな聖徒を増やし、更に清隆寺を発展させて頂きたいと思えます」とエールを送り祝辞を締められた。
今回の法要の日程は、靈断法を三回行って日にちを決め、その日に向かって計画を進めていった。コロナ禍で宗門や教区、管区の行事は中止・縮小する中、結果としてコロナウイルス感染状況が落ち着いていた時期と重なり、通常規模で法要を行えた。このことはとても喜ばしいことで、靈断法の凄さ有り難さを改めて感じた、と林団長は語った。
また団長は「興隆を極めたであろう戦前の状態を目指して精進し、立派なお寺を次につなぐことので先師への報恩としたい」と語った。今後、法華経八巻約七万字を書写し、由来と共に中央の宝塔に納め、一天四海皆歸妙法と国土安穩・国家万歳・国民隆昌を祈念される。



大塩孝信会長のご挨拶



山形教亨上人による高座説教

みおしえ



何(いか)に法華経を信じ給うとも謗法あらば必ず地獄にをつべし、うるし(漆)千ばい(杯)に蟹の足一つ入れたらんが如し、毒氣深入失本心故は是なり

【曾谷殿御返事】建治二年(一二七六) 聖寿五十五歳 訳: どれほど法華経を信じていても謗法があるなら、必ず地獄に墮ちるのである。千杯分の漆の中に蟹の足を一つ入れたようなものである。法華経寿量品に「毒氣が深く入って本心を失ったからである」とあるのは、このことである。



教学部長 和歌山県龍光寺聖徒団団長 松森孝雄

本抄では、末法における正しい師を求めることが成佛の要諦であることとを明かされるとともに、正法に背いた悪師や悪知識に従ってはならず、徹して責めるよう教えられている。

この御文の前では涅槃経の文を引かれ、末法における正しい師とは謗法の悪を厳しく呵責する者であることを明かしている。この涅槃経の文では、たとえ佛法を信じて修行していたとしても、佛法を破壊する者を見ながら放置して責めも糾明もしなければ「その人は佛法の敵(かたき)となってしまう」と説かれている。この経文を踏まえて、謗法を責めないで成佛を願う姿を「火の中に水を求めるように虚しいものである」と断じておられる。正法に背く謗法の悪は、信仰における「猛毒」である。それを放置す

ることは、器千杯分の漆の液の中にわずか一本のカニの足を入れるだけで漆の効力がなくなるように、積み上げた信心の功德を一気にすべて失ってしまうと言われている。また、謗法の悪を放置する者は、法華経寿量品の「良医治子の譬え」に出てくる子どものように、謗法の毒害に深く侵され信心を失った姿であると仰せである。

日蓮大聖人は、身命を惜しまず謗法を責め抜かれた。その御生涯は、大聖人御自身が衆生救済のため、佛国土建設のために謗法の悪を厳しく呵責された、まさに「末法における正しい師」に他ならぬ。

四月八日はお釈迦さまの誕生日である。大聖人は、お釈迦さまの出世の本懐(本来の願い・本望・本意)は正法が「妙法蓮華経」であることを見い出された。悪法弘まる世の中にあつて「末法における正しい師」である日蓮大聖人への報恩も込めて、お釈迦さまのお誕生日のお祝いを念じつつ、我が身の信心を振り返りたいものである。

身延山で お会いしましょう

御真骨堂

拝殿の奥に望む土蔵造り八角堂が日蓮聖人の御舍利を奉安する御真骨堂(ごしんこつどう)です。尾張の信徒の丹精によって明治14年(1881)74世日艦(にちかん)上人の代に建立されました。

御真骨堂の中央には精緻を極め善美を尽くした五重塔があり、その中央の水晶の宝龕(ほうがん)中に日蓮聖人の御真骨が納められています。堂内の宝龕蓮華台は美濃国の寺院、五重塔と天蓋(てんがい)は長崎の講中の寄進するところであり、金銀をちりばめた四天王は後藤祐乗(ゆうじょう)の彫心鏤骨(ちょうしんるこつ)の作です。



よろこびちゃんの質問箱

四月は清明、生命の始まり

今月四月四日〜四月十九日は二十四節気のひとつ「清明(せいめい)」の一週間。清明は清らかで明るく、生き生きとした様子を意味する「清浄明潔(しよつじょうめいけつ)」を略した言葉なのよ。



暖かな日差しと共に空気は澄んで、陽の光は明るく万物を照らし、全てが明るくキラキラと活気あふれる時期。新年度が始まり、入社や入学、一人ひとりに新しい「よろこび」が訪れる心躍る季節。

よろこびちゃんに質問がある方は九段事務所までご連絡ください。

読者の声

皆さまの感想をお待ちしています♪

よろこび2月号を読んで感想をいただきました。

○千葉県館山市 T様より

ずっと悩んでいました。生きることに苦しんでいました。そのときに、ある僧侶から「人は死ぬために生きている」と言われ宗教に対して不信感をいただいていた。

今回、蘆田上人のよろこび法話を読んで、とても納得できる内容で、すごく感銘を受けました。心が救われた気持ちです。ありがとうございました。



○岐阜県各務原市 和田様より

可愛いイラストをいただきました!

進め！ 繋がる霊断師

石川県 本興寺聖徒団
中谷妙佳 上人

令和三年度第二期信行道場を終え、晴れて僧侶になりました。

この度は家族の勧めで霊断師になりましたが、非常に奥深い世界で、驚きと感動の連続です。

まだまだ分からないことばかりですが、色々な方がお題目のご縁を結べるよう、研鑽を積んでいきます！



よろこびちゃんのクッキング

白菜と豚肉の塩鍋



〈作りやすい分量〉

豚薄切り肉150グラム、白菜300グラム、長ネギ1本、しょうが1片、A(水2カップ、酒大さじ2)、塩小さじ2分の1、こしょう適量。

〈作り方〉

①豚肉は食べやすい大きさに切る。

白菜は繊維を断つように1センチ幅に切る。

長ネギは斜め薄切りにする。

しょうがはよく洗い、皮付きのまま千切りにする。

②鍋にAと白菜、しょうがを入れて中火にかける。沸騰したらふたをして、弱火で10分煮る。

③豚肉を広げてのせ、ふたをして蒸し煮にする。肉に火がとおったら長ネギのをせ、再びフタをする。

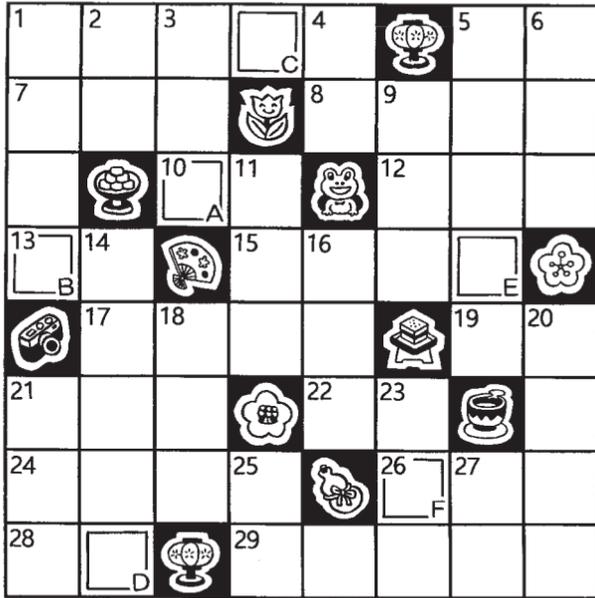
④長ネギがしんなりしたら塩とこしょうを加えて味をととのえる。

〈アレンジ〉
Aに顆粒中華だしを加え、中華麺を入れてちゃんぽん麺にしてもおいしい。シーフードミックスを加えるのもおススメです。

みなさん自慢の郷土料理レシピを募集します。郷土料理のレシピと、完成した料理の写真一枚を添付し、九段事務所まで郵送またはメールでお送りください。

脳トレクロスワード

答	A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---	---



■ヨコのカギ

- 1 ある球技の試合開始
- 5 ばかばかしくて仕方がない時に茶を沸かす?
- 7 鉱石から金属を取り出し精製・加工する技術
- 8 超大型です
- 10 日本は……国です
- 12 季語と17音が基本
- 13 ……から棒
- 15 金満家という言い方も
- 17 新型コロナで中止続出
- 19 おだてると木に登る?
- 21 「山葵」の読み方は?
- 22 ……ネコ、……坊主
- 24 スコットランドで生まれた織物
- 26 マーケットのことです
- 28 重さの単位
- 29 アイメークの一つ

- 27 タテのカギ
- 25 頑丈ではないようす
- 23 ラッキー……がある
- 21 徳が高く品位のある人
- 20 照ノ……、北勝……、宝……
- 18 オミクロン株は新型コロナウイルスの……
- 16 ロナウイルスの……
- 14 飾り気がなく自然
- 11 夜中のこと
- 9 機械です
- 6 第2次世界大戦中に欧州で広まった勝利の印
- 5 甘味料の代表格
- 4 小さいことの例え
- 3 中東やインドで頭に巻きます
- 2 電気工学上の単位
- 1 ……取りが……に
- 自動……、回転……
- 社会や集団の中の立場

スマホかパソコンで検索してみてください



★抽選で毎月3名様に素敵な景品をお送りします。(締切は毎月20日消印有効)

①郵便番号 ②住所
③氏名 ④電話番号

を明記の上、葉書にてお申し込みください。

【答えの送付先】
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
喜助九段ビル702
霊断師会九段事務所 宛
◎先月号の答えは「ペンギン」

二月号クロスワード当選者
①群馬県前橋市 瀬下和美様
②岐阜県各務原市 和田希愛様
③愛媛県西条市 曾我部昭子様

※景品は「よろこびちゃんトートバック」です。皆さんのご協力に感謝です。

花粉症はひとつの病気にあらず!?

宮崎県 龍雲寺聖徒 薬師整骨院 岩田行敏院長

岩田先生の心も体も生き生き!

花粉症が飛散する季節になると良くみられる、くしゃみや鼻水!

花粉症は、ひとつの病気として捉えられることが多いのですが、複数の症状がみられる場合「季節性アレルギー性鼻炎とそれに伴う合併症が起きている状態」と考えるそうです!

季節性アレルギー性鼻炎の主な症状としては、くしゃみ・鼻水・鼻づまりが挙げられ、そのほかの症状がある場合は、次のような病気が引き起こされているようです!



花粉症(季節性アレルギー性鼻炎)の合併症

●慢性副鼻腔炎

【主な症状：鼻水、鼻づまり、頭痛】
蓄膿症という別名でも知られ慢性副鼻腔炎が合併すると、花粉症の症状として現れた鼻づまりが治りにくくなるという特徴あり!



●気管支喘息【主な症状：咳、痰】

花粉症と気管支喘息を合併している場合、どちらか片方が悪化すると、残りのもう片方も悪化してしまうことが多く、気管支喘息ではなかった人でも、花粉症をきっかけとして発症してしまうケースもあり!

●アレルギー性結膜炎

【主な症状：目のかゆみ、充血、涙目】

花粉症の症状として語られることの多い、目のかゆみや充血・涙目ですが、これらは厳密に言うと、花粉症の合併症として引き起こされた、アレルギー性結膜炎によるものだと考えられ、症状が重い場合、まぶたが腫れることもあり!



ひとことで花粉症と言っても、合併症を含め症状は人それぞれ…花粉症だと思っけていても、似た症状の別の病気が隠れている可能性もあります!症状が重い場合やお悩みのことは早急に対処しましょう!

よろこび法話

『名前の持つパワー』 ～呼ぶだけで元気が出る～



東京都八王子市 日朝寺光明聖徒団団長
尾崎妙翠

人にとって「自分の名前」というのは、とても特別で大切なものですよ。道を歩いていて「あのー」とか「スミマセンー」と呼びかけられても、誰の事だか分からず素通りしちゃうかもしれません。ですが「妙翠さん」として名前が呼ばれたらすぐに気が付くことが出来ます。また、病院の待合室などでも、大勢の人がその場にいたり、本を読んだりしていて意識がそちらに向いていない時にも、不



思議な事に看護師さんに「尾崎妙翠さん」って呼ばれたらハッと「私だ、次の番だ」って気が付くことが出来ますね。自分の名前を呼ばれるという事は、とても特別です。この力があるのだなあと感じます。

さてわたしは、お坊さんになることを志し、六年ほど前に現在の「妙翠」という名前に改名致しました。生まれた時に両親が私に付けてくれた名前は「緑(みどり)」です。師父である文英上人は、私の事を小さいころ「みどり君」と呼んでいました。家にいる時、たまにどこからか「みどりちゃん」って父の声が聞こえてくるので、声のする方に行ってみて「なあに？今呼んだ？」って聞くと「ああ、用事がある訳じゃないよ、ちょっと呼んだだけだよ、呼ぶとね元気が出るんだよね」と言われました。「へんなのー」と子供の私は思っていました。今よく考えてみますと私の名前を呼んだだけで元気をだして貰えるなんて、嬉しくてとても幸せだったのだなあと感じます。

前？ペットの名前を一番多く呼んでいるわっていう方もいるかもしれません。生活の中で、「お父さんご飯だよー」とか、「○○ちゃんもう起きなさい」とか。名前を呼びますよね、実はこうした日常の中で名前を呼ぶことから、私たちは、そこに含まれる「愛のパワー」を受けています。だって独りじゃないってことです。だから、とても有難いです。では、お家に一人の人はどうしよう？毎日お仏壇のお茶やお水を変え、時、名前呼びましようよ。声に出して呼びましよう。たぶん、皆さんすでに行っていると思います。

私も毎日、仏壇で師父のお位牌と写真に向かって「お父さん、おはよう。お水取り替えます」と話しかけます。

そうすると、返事が返ってくるのです。「おとうさん」って言う、「みどりちゃん」って返ってきます。これは、いつでも、何回でも呼べば必ず！私の心の中に響いてきます。

「おとうさん」
「みどりちゃん」
それだけで、私も、元気が湧いてくるんです。父が昔言っていた「名前を呼ぶだけで元気が出る」という意味が、今になって私の心に響いています。

「妙法蓮華経とは我等衆生の仏性と梵王・帝釈等の仏性と舍利弗・目連等の仏性と文殊・弥勒等の仏性と三世の諸仏の妙法と、一体不二なる理を妙法蓮華経と名けたる也。」
『法華初心成仏抄』

私たちは誰もが心に「仏性」を持っています。この私たちの「仏性」が、大曼荼羅ご本尊に書かれているような名だたる神仏たちの「仏性」と全く同じだということです。また、仏様の「悟りの心理」と全く同じだとおっしゃっています。そしてそれらを「妙法蓮華経」と名付けられたのです。

「花まつり × BBday」



本誌イラスト 小川けんいち

私たちが毎日「南無妙法蓮華経」とお唱えする事は、自分や神仏の「仏性の名前」を呼び起こしていることになり、また、「南無妙法蓮華経」とお唱えする度に、仏さまの「悟りの心理の名前」を繰り返して、呼んでいることになり、

だから、私たちはこの「南無妙法蓮華経」という名前を呼ぶだけで、その名前の持つパワーで、元気がいただけるのです。いつでも「南無妙法蓮華経」と呼びかけましよう。必ずあなたの心の中に返事が響いてきます。名前を呼ぶだけで、元気が湧いてきます。

これからは皆さまと共に「南無妙法蓮華経」と唱え、元気な心でいられますように。また大切な方とお互いの名前をたくさん呼び合えますように。ご祈念いたしております。

いつも頑張っている「私」へ
花祭りは、お釈迦さまのご生誕(四月八日)をお祝いするお祭りです。

お釈迦さまは生まれてすぐに天地を指さし、
「天上天下唯我独尊」あらゆる命は、すべて尊くすべて愛おしい」と、説きました。お釈迦さまの教えは、私たちがあわせて生きる道しるべとなり、今なお語り継がれます。

お釈迦さまの願いは、「ひとりひとりの「私」のしあわせ」です。

今この瞬間も頑張っている「私」へ、しあわせを願って花を贈りませんか？

全国のよろこびちゃん vol.102

三重県伊賀市 上行寺聖徒団 (田中正法団長)

田中 一路 中一(男)
田中 七瀬 小五(女)
けんかもするけど仲良しです！

砥森山 法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞

〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

安房乃國随一 三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団
団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」
〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

長栄寺聖徒団
植松 拓也・洋子御夫妻

家族揃ってお詣りします
三松山 長栄寺

〒100-0402
東京都新島村本村3-1-4
TEL 04992(5)0168
FAX 04992(5)0111

利生寺

靈断院院長
利生寺聖徒団団長
末吉 観道

〒930-0055 富山県富山市梅沢町3-16-10
TEL 076-421-8776 FAX 076-421-8250

正蓮寺

日蓮宗靈断師会連合会 会長
正蓮寺聖徒団 団長
大塩 孝信

〒290-0151 千葉県市原市瀬又134-1
TEL 0436-52-0207
FAX 0436-52-2288